

後援会 公報

38
2006
9.15(金)

発行責任者 辰巳 澄子

発行所 〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1 大阪工業大学事務部庶務課内
大阪工業大学後援会 ☎06-6954-4097

kouenkai@ofc.oit.ac.jp

C
O
N
T
E
N
T
S

後援会会長就任にあたって(辰巳後援会会長)・・・	1
自律、協働の心がけと倫理観(西川学長挨拶)・・・	2
情報科学部設立10周年記念シンポジウム開催 新理事長に坂口正雄理事が就任・・・・・・・・・・	3
情報科学部の改組について 2006年度定期総会および個別相談会を開催・・・	4
2006年度後援会役員・委員一覧 2006年度会報編集委員会 2006年度後援会事業計画・・・・・・・・・・	5
2006年度後援会予算書 後援会活動の早わかり・・・・・・・・・・	6・7
小池環境大臣招き特別講演会 2006年度教育懇談会のご案内・・・・・・・・・・	8・9
大学の窓口一覧 2006年度就職戦線レポート・・・・・・・・・・	10
キャリアデザイン特集・・・・・・・・・・	11
2006年度就職内定学生からのアドバイス・・・	12・13
エクステンション講座のご案内・・・・・・・・・・	14・15
大学生と健康(生活習慣改善のすすめ)・・・・・・・・	16

後援会会長就任にあたって

ご支援・ご協力を よろしくお願いいたします。

大阪工業大学後援会会長
辰巳 澄子



会員の皆様には日頃より後援会の活動にご理解・ご協力を賜り、誠に有り難うございます。6月3日開催の定期総会におきまして、2006年度の後援会会長という大役をお引き受けすることになりました。大変な重責ではありますが、新役員の方々と共にこの一年間精一杯努めさせていただきますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

後援会の主な目的は、学業や課外活動、学生行事への援助を通じて、学生が大学生活をより快適に送れるように支援することにあります。この活動内容につきましては、毎年2回発行しております後援会報を通じて少しでも多く会員の皆様にご連絡させていただいております。

主催行事などを通じて会員相互の親睦を図り、子供を持つ親として共通に抱える悩みの解消に取り組んでいます。特に学業成績や大学での生活の様子などのような状態であるのか、親は常にかかりなものです。そこで、子女の成績を把握していただくために、学業成績表が大学から年2回ご家庭に送られております。後援会としても学業や学生生活について、ご子女と話し合っていたく良い機会になればと思ひ、費用面で援助をさせていただいております。

また、大学の全面的な協力を得て、会員と大学との相互理解を深めることを目的として教育懇談会を開催し、毎年参加者の皆様から好評を得ております。本年は10月から11にかけて大阪をはじめ金沢、東京、松山、北九州、岡山の6都市で開催します。教育懇談会はご父母の皆様と先生方が直接懇談できる有意義な機会です。一人でも多くの会員の皆様に参加していただき、学業、学生生活および就職活動に関して、日頃疑問に思われている事

や心配事など、どんな些細なことでも、ご相談いただきたいと思います。

理工学系の専門大学としてこれまで多くの優秀な人材を輩出された大阪工業大学ですが、知的財産学部の新設、さらに今春は、工学部に環境工学科、空間デザイン学科、生体医工学科の3つの学科が新しく誕生しました。その環境工学科開設にちなんで、小池百合子環境大臣の特別講演会が大宮キャンパスで7月に開催され、私も拝聴いたしました。

環境問題という言葉はよく耳にするようにはなりましたが、私個人としては深刻で難しい印象を抱いておりました。小池大臣は、風呂敷が日本古来から伝わる優秀なエコ・グッズであること、「もったいない」という日本語が、遠くケニア共和国で、MOTILANI(もったいない)という言葉で環境問題に貢献しているお話などが紹介され、環境問題がとても身近に存在するものだとということを実感しました。

このように大阪工業大学が、社会のT.Zの先を読み、新学科の増設などが進められているのは、現在社会が学生に対し、専門的な知識はもちろんです、それを広げるための総合的な情報や、さらには人間関係など、幅の広いつながりの必要性が求められているからではないでしょうか。後援会といたしましては、大阪工業大学の学生として、専門的な知識と社会性、人間性を併せ持つて巣立つて頂くために、大学とご家庭、学生をしっかりとつなげる役割を果たせるよう、サポートしてまいりたいと思ひます。

会員の皆様におかれましては、後援会活動に積極的にご参加頂き、今後の活動内容に引き続きご理解・ご協力頂きますよう、宜しくお願い致します。

自律、協働の 心がけと倫理観

大阪工業大学 学長 西川 禕一



後援会の皆様には、常日頃から本学におけるこ子女の教育・学修について、並々ならぬご理解・ご支援とご協力を賜っております。改めて心からの謝意と敬意を表したいと存じます。

現今の社会は、誠に残念ながら国内外ともに不透明かつ不安定なところが多く、激しい混乱や痛ましい犯罪も頻発しています。ですから、本学に学ぶ若者たちも不安と戸惑いを覚えることが少なくないようです。そういった状況を克服し、厳しい競争原理の支配するこれからの社会・産業界で活躍できる人材を育てるために、今後ともご家庭と大学との緊密な連携が欠かせないと考えております。

本学では一昨年、教育の理念を文章化致しました。それを簡約して申しますと、「豊かな人間性、確かな人間力の向上に努めるとともに、社会・産業界において存分に活躍できる専門基礎と応用の力を身につけ、加えて新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた、心身ともにたくましい

専門的職業人（高度プロフェッショナル）の育成に主眼を置く」であります。

少し表現を変えれば、以下のように言うことができます。人間（社会人）に必要なのは、自立し自律できる力と、相互理解し協働する心がけです。自立し自律するために必要なのは、仕事のプロとしての一人前の力、つまり専門力にほかなりません。そして、人間は集団（社会）の中で生きる動物なので、周囲の人々と融和し協働する心がけが欠かせません。協働の基礎として、何よりもしっかりとした倫理観とマナー、そしてコミュニケーション、リーダーシップ、チームワークなどの力が必要で、その上に立つて堂々と自分を表現し主張すると同時に、他人を理解し受け入れる努力を欠いてはなりません。協働の実を挙げながら活力をもって生きる力が、すなわち人間力なのです。

最近の世相を見ると、家庭内での円滑な意志疎通と融和・協働が如何に大切か、そのことを実感せざるを得ません。よろしくお願い致します。

【情報科学部設立10周年】記念シンポジウム開催

大阪工業大学の情報科学部が1996年の開設から今年で10周年を迎えます。これを記念した大阪工業大学・毎日新聞社主催のシンポジウムが9月2日、大阪商工会議所の国際会議ホールで開かれ、学生や教職員、企業関係者など約550人が出席しました。

テーマは「『開けゴマ!』コピキタスネット社会がやってくる」で、近い将来に実現されるといわれているコピキタスネット社会について、情報通信技術のあり方、情報通信技術者の育成を担う大学における教育のあり

方などについて、専門家による講演、パネルディスカッションがありました。「2050年、夢の通信時代へ」をテーマに基調講演を務めたのは、ノンフィクション作家の山根一真氏。また、「コピキタスネットが変える未来を占う」と題したパネルディスカッションには東京大学大学院の竹内郁雄教授、NTT先端技術総合研究所の市川晴久所長、毎日新聞科学環境部の元村有希子記者、大阪工業大学情報科学部の山内雪路教授がパネラーとして出席し、コピキタスネット社会到来の功罪や、

今後の技術発展の展望などについて掘り下げた議論が展開されました。

コピキタスネット社会とは...
いつでも、どこでも、何でも、誰でも利用できるネットワークを実現させ、安心、安全で快適な生活が送れる社会という意味。日本では総務省がコピキタスネット社会実現に向けたu-Japan政策の立案にすでに着手し、2010年に実現できるようビジョン・政策の策定を進めています。

新任 坂口正雄理事が 新理事長に



学園ではこのほど、東松理事長が7月31日付で退任(総長は続投)することに伴う新理事長の選任があり、坂口正雄理事が互選され新理事長に就任されました。

プロフィール

理事長 坂口 正雄(さかくちまさお)
大阪工業大学工学部電気工学科卒。きんでん代表取締役副社長、メックス代表取締役社長、同会長などを歴任。2003年7月から学園理事。2006年8月から理事長。69歳。

2007年4月、 情報科学部 が変わります!

情報科学部は、ユビキタスネットワーク社会(あらゆるものがつながり、いつでもどこでも通信サービスを利用できる社会)に対応するため、既存の3学科からネットワーク分野を切り出しそれに特化する「情報ネットワーク学科」を新設し、より専門的な教育を展開します。また、情報科学科はコンピュータ基盤技術に特化する「コンピュータ科学科」に名称変更し、カリキュラム()が充実します。生まれ変わる情報科学部は、情報化社会に必要なあらゆる情報技術領域で活躍できる情報プロフェSSIONナルを育成してまいります。

()このカリキュラムは、2006年度入学生から適用されています。このことから「コンピュータ科学科」への名称変更は、2006年度入学生からの適用となります。

NEW

2007年4月
増設

情報ネットワーク学科

いつでも、どこでも、誰とでも
快適に、安心して使える
ネットワークを築く



Re-NEW

2007年4月
名称変更

コンピュータ科学科

世の中をもっと快適にするため
ハード・ソフトウェアを開発する



情報システム学科

より豊かで、
安全・安心な生活のために
コンピュータで社会の基盤をつくる



情報メディア学科

画像、映像、音声の処理技術で
新しいコミュニケーションを生む



2006年度

定期総会 を開催

大阪工業大学後援会会則に基づき、2006年度の後援会定期総会を6月3日(土)、学園創立60周年記念館の記念講堂で開催しました。西川禎一学長や各学部長をはじめとする大学の首脳を来賓に迎え、延べ279名の会員が出席しました。

神宿悦子前副会長の司会進行により、2005年度事業報告、収支決算報告が旧役員から、新役員選出後は2006年度の事業計画、予算の各案が新役員からそれぞれ提案され、すべての審議が承認されました。なお、新会長には前副会長の辰巳澄子氏が選出されました。(新役員・委員一覧は下表の通り。2006年度事業計画および予算は5ページに掲載)

総会に続いて、井上正崇工学部長が講師を務める「21世紀社会が求めるキャリア教育」と題した講演がありました。地球環境の変化と資源の枯渇、少子高齢化が進む日本。中国、インド等の躍進など不透明で複雑な社会環境の中、将来に



工学部長講演における7つのポイント

- 1 21世紀社会:不透明で複雑な社会
- 2 日本の進むべき道
- 3 企業が求める若者
- 4 井深大と本田宗一郎
- 5 若者が目指す自己実現?
- 6 教育は知識の獲得と人格形成をセット
- 7 大阪工業大学におけるキャリア教育

わたって社会から評価され、活躍できる人間となるために、大阪工業大学におけるキャリア教育について、7つのポイントに要点を絞って解説されました。

講演の後、セミナー室などに会場を移し、希望者を対象にした個別懇談会を開催しました。今年度は、昨年にも増して多数の参加があり、学生生活や学業成績、就職活動など相談内容によってそれぞれ会場を設け、大学教員スタッフ、事務局部門の担当者と個別相談を行いました。



2006年度役員・委員の皆様

2006年度 大阪工業大学後援会役員・委員一覧

顧問	安藤勇次	監事	高廣絹代	常任委員	樋口陽子	常任委員	谷本真弓	委員	杉原清子
顧問	山口修	監事	御厩幸代	常任委員	岡野早苗	常任委員	衛藤政宣	委員	高尾真智子
顧問	山脇基文	常任委員	西川好和	常任委員	工藤敏美	委員	田村佳子	委員	上野夏子
会長	辰巳澄子	常任委員	山口容子	常任委員	馬場保恵	委員	大石貴子	委員	森實 猛
副会長	機田かおる	常任委員	福島初代	常任委員	浜野三代	委員	井上 充	委員	松尾栄美子
副会長	中嶋慶子	常任委員	山野智子	常任委員	掛谷幸子	委員	高橋典子	委員	岡田英子
副会長	坂井睦子	常任委員	藤原公美	常任委員	横山さと子	委員	坂田千明	委員	山崎泰淑
副会長	津木雅規	常任委員	岩木昭雄	常任委員	北口みどり	委員	清水雪美		
副会長	三木幸子	常任委員	森岡陽一	常任委員	濱本尚代	委員	木田悦子		

2006年度 後援会会報編纂委員会

委員長	山口容子	委員	西川好和	藤原公美	樋口陽子	馬場保恵	横山さと子	谷本真弓
			福島初代	岩木昭雄	岡野早苗	浜野三代	北口みどり	衛藤政宣
			山野智子	森岡陽一	工藤敏美	掛谷幸子	濱本尚代	

2006年度 大阪工業大学後援会 事業計画

事業	内容	時期
1 学生の課外活動への援助	・特別行事(海外合宿・周年行事等)、学外コンテスト出場、課外活動団体活動用物品購入・修理に対する援助	随時
2 学生行事への援助	・大学祭実施に対する援助 ・大学祭各賞副賞に対する援助 ・学生表彰副賞に対する援助	11月 11月 7月・1月
3 学校行事への援助	・学位記授与式レセプション(祝賀会)等への援助 ・学部主催行事への援助	3月 随時
4 施設・設備に関する協力援助	・学生用貸出物品の購入 ・キャンパス美化運動への援助	随時 随時
5 学生の就職についての協力援助	・「就職模擬テスト」に対する援助 ・就職講演会・就職直前対策セミナー等に対する援助	9月～11月 随時
6 教育上必要な家庭との連絡	・学業成績表の保証人宛送付費用に対する援助 ・教育懇談会の開催 〔会場〕大阪(大宮・枚方学舎)・金沢・東京・松山・北九州・岡山 ・会報の発行、送付	9月・3月 10月～11月 9月・3月
7 国際交流事業への支援	・大学が実施する海外研修参加費用の一部貸与	8月
8 その他目的達成のための必要な事業	・後援会説明会(入学宣誓式終了後の 新入生父母への説明会)の開催 ・定期総会の開催 予算・決算、事業計画、役員等の 選出等 ・慶弔内規による見舞金等の支給	4月 6月 随時

2006年度 大阪工業大学後援会 予算書 (2006年4月1日～2007年3月31日)

一般会計の部

(単位:円)

科目	予算申請額	前年度予算額	差異	備考
収入の部				
1 学園教育振興会援助金収入	40,000,000	30,000,000	10,000,000	
2 寄付金・その他の収入	0	0	0	
3 受取利息収入	3,000	6,000	3,000	銀行預金利息
4 前年度繰越金	5,595,298	9,812,690	4,217,392	
合計	45,598,298	39,818,690	5,779,608	
支出の部				
1 事業費支出	42,426,000	36,210,000	6,216,000	
課外活動援助金支出	9,770,000	9,770,000	0	各課外活動団体活動用物品購入・修理費、特別行事費(海外合宿・周年行事等)、学外コンテスト出場費
学生行事援助金支出	2,530,000	2,530,000	0	学生表彰副賞、城北祭、北山祭実施費等
学校行事援助金支出	7,809,000	4,672,000	3,137,000	学位記授与式祝賀会祝儀、卒業記念品購入等、学部主催行事への援助
教育施設設備援助金支出	2,000,000	200,000	1,800,000	貸出用課外活動用備品等、キャンパス美化運動への援助
教育支援援助金支出	1,000,000	1,000,000	0	エクステンション講座講師派遣料の援助
就職関係援助金支出	4,417,000	4,333,000	84,000	就職模擬テスト、就職講演会等講演料
教育懇談会費支出	8,351,000	6,726,000	1,625,000	教育懇談会実施経費
会報刊行費支出	3,805,000	4,054,000	249,000	後援会会報発行等経費
学業成績表郵送費支出	1,544,000	1,725,000	181,000	学業成績表作成、郵送料等経費
慶弔費支出	1,200,000	1,200,000	0	香料、楮料、病氣・災害見舞金等
2 運営費支出	3,054,000	2,819,000	235,000	総会費、諸会議費、通信、案内状印刷費等の経費
3 予備費支出	118,298	789,690	671,392	
4 次年度繰越金	0	0	0	
合計	45,598,298	39,818,690	5,779,608	

特別援助積立金会計の部

項目	予算額
収入の部	
前年度繰越金	26,000,000
合計	26,000,000
支出の部	
次年度繰越金	26,000,000
合計	26,000,000

国際交流支援事業会計の部

項目	予算額	備考
収入の部		
前年度繰越金	6,000,000	
合計	6,000,000	
支出の部		
海外研修貸付金支払支出	2,500,000	'06年度貸付見込み額
次年度繰越金	3,500,000	
合計	6,000,000	

(注)海外研修貸付金の原資は600万円。

テーマは
環境



小池環境大臣招き 特別講演会

7月5日、創立60周年記念館の記念講堂で開催されました。この春の工学部環境工学科開設にちなんで、小池百合子環境大臣が「環境教育・環境研究における大学への期待」と題して講演しました。ほぼ満席となる約500人の学生、教職員などが座席を埋め尽くしました。

小池大臣は自身の留学経験など経歴の中から、いかにして環境問題への関心を高めていったかを紹介。現在、環境省が取り組んでいる京都議定書の温室効果ガス排出の6%削減問題、「クールビズ」や「循環型社会の実現」などの提案・提言について、丁寧に説明されました。また、環境を守るためには「わざ」と「こころ」が大切と強調され、環境教育における人づくりに対する強い期待を述べられました。

講演終了後、小池大臣には東松総長から大阪工業大学名誉博士の学位が授与されました。

10月～11月

教育懇談会の開催

大阪・金沢・東京・松山・
北九州・岡山
(2006年度実施会場)



学生の就職活動に ついての協力援助

「総合就職テスト」に対する援助
就職講演会に対する援助



学生行事への援助

大学祭実施に対する援助
大学祭各賞副賞に対する援助
学生表彰副賞に対する援助



国際交流事業への 支援

海外語学研修参加費用の一部貸与



後援会活動

の早わかり!

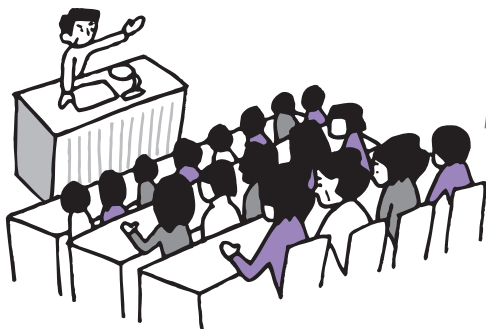
大阪工業大学 後援会

役員会・委員会

事務局

定期総会の開催

- ・予算決算審議
- ・事業計画審議
- ・役員を選任



学生の課外活動への援助

- 各課外活動団体活動用物品購入・修理費に対する援助
- 特別行事費(海外合宿・周年行事等)に対する援助
- 学外コンテスト出場費に対する援助



教育上必要な施設・設備 に関する協力援助

学生用貸出物品の購入



教育上必要な 家庭との連絡

- 学業成績表の保証人宛送付費用に対する援助
- 教育懇談会の開催
- 会報の発行、送付



大学行事への援助

- 学位記授与式レセプション(祝賀会)等への援助
- 卒業記念品の贈呈





'06 教育懇談会のご案内

大阪の本学会場のほか東京など5都市で開催

教育懇談会は、大学側の全面的な協力を得て、ご家庭と大学とのコミュニケーションを図ることを目的とした後援会最大のイベントです。より多くの会員の皆様にご出席、ご満足いただけるよう、毎年実施後に出席会員からいただいたご意見・ご要望を基に、新年度の運営改善を図っています。

2006年度は、大阪(大宮・枚方キャンパス)、金沢(中部地区)、松山(四国地区)、岡山(中国地区)、北九州(九州地区)に加え、東日本各地在住の会員から特に要望がありました東京も加えた6都市7会場で開催いたします。教育懇談会の中でも特に重視している会員と先生方の個別懇談を一人でも多くの方

に受けていただけるよう、担当の先生方にも多数出席・ご出張いただきます。

対象者の方は是非この機会をとらえ、奮ってご出席いただきますことを後援会役員一同心よりお待ちしております。

日程・会場

実施日	実施都市	会場	対象学部
10/14(土)	大阪(本学)	大宮キャンパス	工学部・知的財産学部
		枚方キャンパス	情報科学部
10/22(日)	金沢	金沢ニューグランドホテル	全学部
	東京	大阪工業大学東京センター	
10/29(日)	松山	松山全日空ホテル	
	北九州	リーガロイヤルホテル小倉	
11/12(日)	岡山	アークホテル岡山	

懇談対象者

会員の現住所	対象年次	出席会場(いずれか1会場を選択)
大阪・兵庫・京都・和歌山・奈良・滋賀の各府県	工学部 1・2年次 知的財産学部 1・2年次	大阪(大宮キャンパス)または 金沢・東京・松山・北九州・岡山の 各会場
	情報科学部 1・2年次	大阪(枚方キャンパス)または 金沢・東京・松山・北九州・岡山の 各会場
それ以外の都道府県	工学部 1~4年次 知的財産学部 1~4年次	大阪(大宮キャンパス)または 金沢・東京・松山・北九州・岡山の 各会場
	情報科学部 1~4年次	大阪(枚方キャンパス)または 金沢・東京・松山・北九州・岡山の 各会場

大学へのお問合せ窓口のご案内

大阪工業大学後援会では会員の皆様は直接大学の先生方と懇談される機会として教育懇談会を開催しています。また、大学の事務局でも学生本人からの相談はもちろん、ご家庭からのご質問、ご相談も随時受け付けております。どんな内容でもお早目にご相談されることが肝要です。どうぞお気軽に右記窓口をご利用ください。

部署(主な業務)	直通電話番号	Eメールアドレス
庶務課(学位記授与式など) (後援会関係)	06-6954-4097	shomu@ofc.oit.ac.jp kouenkai@ofc.oit.ac.jp
会計課(学費)	06-6954-4102	kaikai@ofc.oit.ac.jp
教務課(学業成績)	06-6954-4083	kyoumuka@ofc.oit.ac.jp
学生課(学生生活、奨学金など)	06-6954-4651	gakusei@ofc.oit.ac.jp
就職課(就職関係)	06-6954-4093	syusyoku@ofc.oit.ac.jp
情報科学部事務室(教務・学生関係)	072-866-5301	jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp
(就職関係)	072-866-5308	jo-syu@ofc.oit.ac.jp
知的財産学部事務室	06-6954-4163	chizai@ofc.oit.ac.jp

夜間・休日等緊急連絡先 【工学部・知的財産学部】正門守衛室 TEL.06-6954-4857
【情報科学部】防災センター TEL.072-866-5330

教育懇談会当日の流れ

時間・内容等は予定です。

大阪(本学)会場

9:30～
受付開始

10:00～11:40
全体懇談・総括説明会
学業全般や学生生活、就職関係について担当の先生から説明があります。

11:40～12:40
昼食および施設見学
昼食をお取りいただき、学内の施設を自由にご見学いただけます。文化会のクラブ活動もご覧いただけます(大宮キャンパス)。

12:40～13:20
就職に関する説明会
将来の進路にかかる大切な説明があります。

13:20～16:30
学部・学科説明会、個別懇談
事前に個別懇談にお申込みの方は、所属の学部・学科ごとに分かれていただき、教員スタッフ紹介、教育方針の説明、研究室の見学などに続いて、お一組20分間の個別懇談を受けていただきます。

地方会場

11:00～
受付開始

11:45～12:40
全体懇談会
学業全般や学生生活について担当の先生から、就職活動などについて就職課職員から説明があります。また、出席の先生方の紹介があります。

12:50～13:40
昼食懇談会
出席の先生方を囲み、昼食を交えてご懇談いただけます。

13:40～16:00
個別懇談会
出席の先生とお一組20分間の個別懇談があります。大学の就職部のスタッフと就職活動などについて相談する「就職相談コーナー」、同じ父母の立場で後援会役員と懇談いただく「後援会コーナー」もあります。

参加までの流れ

対象者の方へ開催の案内状をご送付
(9月初旬)



前期成績表をご家庭へご送付
(9月19日前後にお手許へ)



出席の方は「参加申込書」をご投函
(9月25日必着)



大阪会場(大宮キャンパス)にご出席の方で大学施設にご宿泊を希望される方はお申込みを
(詳細は案内状をご覧ください)



当日、会場の受付まで
直接お越しください



TOPIC

今回初めて開催する東京では、この春にオープンした大阪工業大学東京センターを会場として使用します。同センターは首都圏における学生の就職活動などの拠点として活用され、インターネットの利用やEメールの送受信、常駐スタッフによる各種証明書の発行も可能です。JR有楽町駅、地下鉄日比谷線日比谷駅から徒歩1分の好立地にあり、交通はとても便利です。学生ばかりではなく、会員の皆様もご利用いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

東京センター
東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビルディング北館5階
TEL : 03-3286-0911
FAX : 03-3286-0912





今年の就職戦線の特徴は?

就職戦線 '06

今年度の就職活動は、昨年に引き続き好調に推移するとの予想でした。3月下旬に各企業の新卒採用計画数が公表され、多くの企業で採用数が増加。これを受けてマスコミ各社では「全43業種のうち、前年度実績を上回ったのは38業種(日経産業新聞3月22日付)」等の記事が斉に踊りました。景気回復による人手不足感の強まりや「団塊世代」の大量退職をにらみ、企業が採用を大幅に増やし、学生の「就職戦線」というより、むしろ企業の「学生争奪戦」といった、まさにバブル期の再来という勢いでスタートを切りました。

これらを裏付けるように、本学へ求人票を寄せられた企業数は、9月1日現在で前年同月より約400社増の5,039社(前年同月比8.4%増)にのぼり、また、連日各企業の人事採用担当者が、近畿圏はもちろんのこと、関東、中部、中国方面からも本学を訪問され、「工大生を是非採用したい。工大の学生を推薦して欲しい。」と、熱烈なラブコールが後を絶たず、一時は応対を待っていたか一幕も。

このような中、今年度就職活動に向かえ

た工大生は、後期試験の終了した2月下旬から積極的に就職活動をスタートし、例年より早い時期から内定を獲得することができました。なかでも特筆すべきことは、多くの学生が複数の一流企業から内定を獲得したことです。中にはひとりで5、6社と内定を獲得した学生もあり、彼らにとっては、様々な業界を視野に入れ、幅広く進路選択を行い、将来の夢の実現に向けて絶好の機会を得たと思われます。また、各企業から女子学生に対するエンジニアのニーズも例年より高く、これまでの就職難といった状況がまるで嘘のように、内定率も男子学生と同レベルで推移しました。

9月1日現在の就職内定率(就職希望者に対する内定者の割合)は、全学平均で昨年度より1ヶ月早く80%を超え、特に建築学科・情報システム学科で既に90%を上回ったのを筆頭に、各学科においても高い内定率となりました。また、今年度から1期生が就職活動の時期を迎えた知的財産学部もその多くが知財知識を生かせる部門への就職を勝ち取り、大健闘しています。

ところで、就職環境が改善されたにも拘

わらず、やはり現在も活動中の学生、未活動の学生が存在するのも事実です。確かに、企業の採用予定人数は増加しましたが、各企業が採用基準を上げていないため、結果的には一定の基準をクリアした学生に内定が集中し、一方で基準に達しない学生はことごとく不採用という結果になりました。前半戦でこの両者を分けたものは何でしょうか? 一つ言える事は、3年生になってから慌てて進路のことを考えるのではなく、将来の夢や目標に向かって充実した学生生活を過ごしたか否かということです。

就職部では現在、未内定・未活動の学生に対して、支援体制を整えております。現状では、中堅、中小の企業は、まだまだ採用予定数に達していません。そこで、それらの企業を対象として、約3,100社に「採用活動継続企業調査」を実施しました。この結果、採用活動継続中の回答を得た情報をもとに、未内定学生に対して、最新の求人情報提供と併せて個人面談を実施し、彼らの内定獲得のバックアップを全力で行っています。



就職部就職課のスタッフの皆さん(大宮キャンパス)



情報科学部就職係のスタッフの皆さん(枚方キャンパス)

特集

キャリアデザイン

大学では学生のみなさんが自分自身を知ること、そこから学生生活の過ごし方を考えることを目的として2年前から「自己発見レポート」というテストを実施するなどして低学年からのキャリア形成支援を進めてきました。本年4月からは半期科目として工学部の1年生を50人程度にクラス分けして、キャリアデザインという科目を開講しました。「コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上をテーマとして、自己理解 目標設定 プレゼンテーションに取り組みました。しかしプレゼンテーションには完成度を求めず、自分で考えること、他者の言いたいことをちゃんと聴くことに主眼を置きました。グループワークやゲームも取り入れながら学生参加型の授業としたこともあり、実施後のアンケートでは8割以上の学生が満足感を示しました。

1年生のみなさんが大学生活

自分の良さを活かす。

をより充実したものとできるよう、一度自分を振り返っていただく。そこから新たな目標を見つけて歩み始めていただくことを大学では願っています。そこでこの授業ではその前提となる自己理解に取り組みました。そのことが将来の進路を考えることに繋がるので、キャリアデザインという名称を付しました。

1年生のみなさんの多くは、まだ大学という大きな「門」の前に立っているのかも知れませんが、ここは何をするところなのか。大学教育の大きな目的は「真理の追求」にあります。多くの1年生諸君はそのことを認識していません。少子化時代の流れの中では自然なことかも知れませんが、例えるならば、キャリアデザインにできることはその大きな「門」を自分で開いてみようと考えてもらうことです。しかしそのことは大学だけでは難しい。そこで、ご家庭でもご子女がどのような授業を受けて

いるのか、そこからどういうことを感じているのかを聴いていただけたら大変有り難いと私たちは考えています。そうするとキャリアデザインの授業も活きてくる。その後は学生諸君の努力次第です。大学はそういう皆さんを応援するように出来ていますので大いに利用していただきたい。

就職活動の場面では大学生活が充実していたかが問われます。1年生の皆さんにとっては、まさに今が大切な時期と言えるでしょう。時代は「LoveからBeへ」。何を求めているから「何であるか」に変わり始めているそうです。今後、社会では「二極化」がさらに顕著になるかも知れませんが、しかしそんな社会にあっても、自分の良さを理解し、その活かし方を知っている自分であれば大丈夫。そんな自立した学生になれるよう、今後も積極的にキャリア形成を支援してまいりますので、ご理解とご支援を賜りたいと存じます。



新井 文和 工学部・応用化学科

内定先 森永乳業 株式会社



就職活動のコツは『焦らずに、しっかり自己分析』

私が就職活動を始めにあたって最も大切なことは「自己分析」であると考えています。自己分析をすることによって、自分が将来どのような職に就きたいのか、また、どのような仕事ができるのかといった事が少なからず見えてくるからです。そうすることで、面接の際にも自分の考えを明確に伝えることができると私は思います。初めて面接を受ける時は様々な不安が頭の中をよぎると思います。しかし、面接は場数を踏むことで慣れることができます。みなさんでもできるかぎり、多くの企業を受験してください。

就職活動に焦りは禁物ですので、くれぐれも焦らずに、しっかりと自分の意志を持って就職活動をすれば、必ず良い結果を出すことができると思います。頑張ってください。

中山 雄喜 工学部・電子情報通信工学科

内定先 東レ 株式会社



就職活動は体当たりで!!

私とこの会社との出会いは合同企業説明会でした。総合化学メーカーでも機電系の存在が大事であることを知り、私にも多くのチャンスがあるのではないかと思います。東レを志望しました。説明会の後、工場見学会に参加し、その後も説明会には幾度か積極的に参加し同社のことを研究しました。就職活動においてはしつこいぐらいで十分だと私は思います。就職活動中、一つ心に決めていたことが私にはあります。それは周りに流されないということです。誰が内々定をもらっても気にしないこと。マイペースで良いのです。面接に行っても同じです。普段の自分を出すのは難しいですが、多くの企業を受けて面接に慣れれば大丈夫です。友達同士での面接練習も面接対策になります。体当たりで数をこなすという意味でいろいろな企業を受ければ、自分をどうアピールしたらよいかも見えてきます。それがわかってきたら、納得いく企業に行けるチャンスが広がると思います。最後に、就職活動に疲れたときには気分転換も必要だと思います。気分転換も就職活動の一つです。納得いく企業に内定をもらえるように、迷わずどんどん体当たりで企業を受け、内定を勝ち取ってください。

樋口 耕平 工学部・経営工学科

内定先 京セラ 株式会社



自分らしい就職活動を!

就職活動を始めにあたって最初に考えたのが、自分はどんな仕事かでした。自分が適しているような仕事を探すのではなく、自分が好きなこと・興味があるもの・やってみたいと思うような企業を探しました。私は以前から「モノを創り上げていく仕事に携わってみたい」と思っていたので、主にメーカーを中心に受験しました。私は面接や筆記試験などが得意だったわけではなく、特別なアドバイスはできませんがこれだけは行ってほしいことを3つお伝えします。 ①あえず、説明会や学校の就職イベントに参加すること。企業説明会に行くこと色々な話が聞けて面白いです。 就職課は活用すること。たぶんわからない事だらけなので、相談に行くこと色々アドバイスしてくれます。私は面接の練習を先生方にも協力してもらい指導していただき、よい経験になりました。たまには息抜きをしてください。休みすぎると焦りますが、自分のペースで進めていくのが良いです。これぐらいを頭の片隅にでも置いていただいて、あきらめず頑張ってください。最後に、就職活動に行き詰まったとき、力を貸していただいた先生方、先輩方、就職課の皆様がこの場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございました!!

清水 亮介 情報科学部・情報科学科

内定先 株式会社 日立製作所



縁と思いで未来へ繋げる

私は昔からロボット等の制御ソフトウェアの開発を行う職に就きたいと考えていました。しかし、実際はどのような会社でどんな仕事があるのかを知らずに就職活動の開始を迎えてしまいました。そして就職活動を進めていくにつれて先生や就職係の方々のアドバイスを聞き、視野が広がり、いろいろな方面に興味を向けるようになりました。その時に出会ったのが日立製作所でした。当初は家電などを扱っている大きな企業という浅いイメージしかありませんでしたが、周囲からいろいろな話を聞き、説明会に参加するにしたがってその企業イメージが一変しました。自分のやりたい仕事の元である自動車のシステム・ソフトウェア開発を行っており、その保有する技術力や多くの自動車メーカーへの提案力は抜きん出たものがありました。更にその分野において日立製作所はこれからも力を入れていくと聞いたので私もそれに参加して未来の車社会をより快適にしていきたいと考え、その考えを強く主張することで内定を得ることができました。

これから就職活動の皆さんは色々な悩みを抱えることもあると思いますが、広い視野と人間関係などのネットワークを駆使して柔軟に挑んで行ってほしいと思います。

壺阪 知央 情報科学部・情報システム学科

内定先 東日本旅客鉄道 株式会社



夢と情熱が結ぶ鉄路(みち)

私は就職活動を始めるとき、自分が『どんな仕事かしたいのか』を学生生活で見つけることができませんでした。そうこうしている間に就職活動が始まり、色々な会社の説明会に行ったり、訪問したりしました。そこで自己分析をしていくうちに、幼少の頃からの夢であった鉄道関係に就職したいと強く思いました。そんな中、どうせなら旅客鉄道で1番大きい会社に入りたいと思い、JR東日本を志望しました。

就職活動を終えて思った事は、企業研究をしっかりして、数多くエントリーをして、自分が本当に行きたい、将来活躍したいと思えるような会社を見つけ、「絶対にこの会社に入りたい」という強い気持ちを持って面接に立ち向かえば自然と面接官に熱意が伝わるということです。皆さんも自分に自信を持って就職活動に挑戦して下さい。

大竹 亜衣 情報科学部・情報メディア学科

内定先 西日本電信電話 株式会社



やってみよう!

私は福祉や医療に興味を持っていましたので、この分野で大学で学んだことを生かした仕事がしたいと考えていました。その時にNTT西日本のHPを見て電話やネットの基盤構築だけでなくこれらを利用したアプリケーションなどを作っている事を知りました。その中に福祉や医療の分野も含まれており、NTTという幅広い規模で自分の理想を実現させたいと思い志望しました。

就職活動で大切だと思ったのは『行動する事』です。自分には無理だと思っても行動してみてください。行動しなければ何も起こりません。結果がダメでも「どうしてダメだったのか、次はどうしたらいいのかが」など考える事につながります。また就職活動を通して多くの人と出会い、話し、そして自分なりに色々考えていく中で沢山のものを学びました。不安な事もありますが、今の自分、未来の自分に自信をもって就職活動を頑張ってください。

2006
年度

就職内定学生 からの アドバイス

知的財産学部
知的財産学科
1期生も大健闘!

野田 幸宏 知的財産学部・知的財産学科



内定先 マツダ 株式会社

自分を表現するために

就職活動にもっとも必要なものは、自分を表現する能力だと感じました。自分のやりたいことと企業側のニーズが合って、初めて採用に至るのだと思います。私がたくさんの企業の中からマツダを選んだ理由は、車が好きだということ、現状に満足せず常に新しいアイデアを積極的に取り入れるマツダの姿勢を強く感じたからです。入社後は、大学時代に学んだ知的財産の知識を活用して、マツダの優れた技術を保護していきたいと思っています。自分はいったい何がしたいのか?たくさんの企業の中で自分はどの企業を選べばよいのか?これは誰もが迷うことだと思います。時には周りの人に手助けをしてもらい、最終的には自分の意志で行動することが重要だと思います。ほとんどの人が、学生として望む就職活動は最初で最後の経験になると思いますので、楽しんで就職活動に取り組んでください。

二宮 孝志 工学部・都市デザイン工学科



内定先 大成建設 株式会社

『自分らしさ』を持つこと

私は、「自分が見つけた構造物を人々に快適に利用してもらいたい」という夢を実現するため、建設業を中心に就職活動を行いました。企業のホームページを見て、興味を持った会社には自分の足で説明会や会社訪問、現場見学などで30社以上回りました。中でも仕事のスケールの大きさや、会社に誇りを持って仕事をしている大成建設を志望しました。就職活動では「自分らしさ」を持つことが最も重要です。会社を数社受けましたが、始めのうちは面接で緊張して、うまく自分を出すことができませんでした。しかし、自己分析をしっかりと行い、友人と面接の練習をしていくうちに面接にも慣れ、自分らしさを出すことができるようになりました。面接では、「自分がどういう人物か」、「会社で何をやりたいか」を自信を持って伝えることができれば、結果はついてくると思います。最後にこれから就職活動を行う皆さん、積極的に行動し、自分に自信を持って臨んでください。

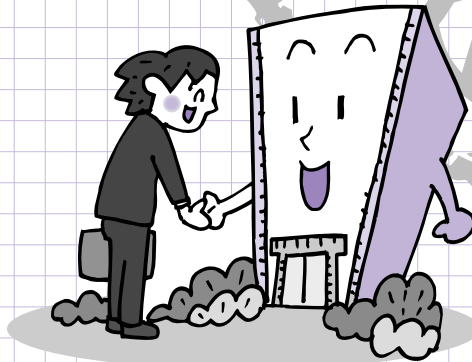
松井 英子 工学部・建築学科



内定先 積水ハウス 株式会社

イメージからもう一步 踏み込んで!

はじめの頃、ただ「設計がしたい!」というだけで、説明会に行ってもおとなしいものがあまりました。当時から興味があった設計事務所も「シッカリ力がついて、設計ができて...」というイメージだけでした。選考が進む3月、私は一步踏み込むために、2週間設計事務所のオープンデスクに行き、事務所の魅力や、仕事の対応や姿勢に触れました。その後多くの社会人の方々と接し、具体的な目標や自分の意志を固めることができました。設計事務所ではなく、積水ハウスを選んだのは、OBと話したときに日本の住宅メーカーは今後もっと成長しなければならず、積水ハウスにその可能性を感じたからです。私も早く実力をつけて、その変化に加わり、積極的に仕事したいと思っています。就職活動で大切なのは、ぼんやりした自分の意志を明確にすることだと思います。その上で一つ一つの選考を大切に、「誠心誠意」向き合えば、次第に芽が出て、自分らしい結果が得られると思います。



朝田 修次 工学部・電気電子システム工学科



内定先 株式会社 東芝

早め早めに行動を

就職活動を始めた頃は、自分がどういった仕事がしたいのか、まだはつきりしていなかったため、色々な業界を視野に入れセミナーや合同企業説明会にとにかく積極的に参加しました。実際に企業研究や会社説明会に参加していくうちに、自分自身の興味が段々と明確になり、業界としての進歩が目覚しく、常に新しいものが求められている半導体業界で働きたいと思うようになりました。その中で、大手電機メーカーの中でも半導体分野に最も注力している東芝を志望しました。

就職活動では、志望動機・自己PRをしっかりと準備しておくことが重要です。しっかりと自分と向き合い、悩めば悩んだ分だけ相手に伝わるものになると感じました。また、就職関連の本や、就職部や担当教授にアドバイスをもらって自分では気付かない点もたくさんあるので参考になると思います。後輩の皆さん!早くから自己分析・企業研究をしていれば、きっと良い結果が出ると思います。後悔のないように、全力で頑張ってください。

関井 徹 工学部・機械工学科



内定先 日産車体 株式会社

『自動車に携わる仕事がしたい』 これが、私の夢でした

自動車産業はとても裾野の広い産業で、働く人の12人に1人は自動車関係であると言われています。私は自動車を利用して仕事をするより、自動車自体を作る仕事を、サプライヤーよりメーカーをというような優先順位を付けていきました。数多くのメーカーがある中で、私は日産車の約4分の1の車種を製造している日産車体に興味を持ち、受験しました。就職活動は人生の中で大きなターニングポイントであると私は考えます。いかに自分自身を客観的に見つめ直すことが出来るか、その中で、他人にはない長所を見出してアピールすることが大切だと感じました。皆さん自身の人生です。後悔ないように精一杯就職活動を楽しんで下さい。

ステップアップを
サポート

エクステンション講座



学園では、2003年度から資格取得・進路支援を目的とした「エクステンション講座」をスタートし、今年度は技術系対策の公務員講座を追加するなど更に充実した全15講座(国家資格6・公的資格3・民間資格2・その他3・公務員)を開講しています。なお、在学生には奨学金制度や再受講制度などの特典があります。(詳細はパンフレットを参照ください。)

前期講座では約820名、夏期講座には約120名の方がステップアップを目指し受講しています。

また、昨年度からは、在学生・卒業生に加え一般の方の受講が可能となっています。

後期開講講座の説明会を9月19日～22日に開催します(詳細は右表のとおり)。興味のある講座説明会には是非ご参加ください。

資格の種類

国家資格

法律・法令に基づいて国が試験を行い認定する資格。

初級シスアド・基本情報技術者・総合旅行業務取扱管理者・
建築士・宅地建物取引主任者・行政書士

公的資格

公的機関と呼ばれている財団法人や社団法人が試験を行い、
主管の各省庁や大臣、あるいは商工会議所が認定する資格。

CGエンジニア・簿記・秘書技能

民間資格

各種団体や民間企業が試験を行い認定する資格。
職業資格制度としての法的背景はない。

CAD・Microsoft Office Specialist/Word・Excel

後期開講講座一覧(申込締切:9/25(月))

講座名	開講キャンパス			受講料(円)
	工大・大宮	工大・枚方	摂大・寝屋川	
要素 TOEIC				30,000
資格取得 MOS Excel2002				34,000
				47,000
2級建築士				47,000
秘書技能検定(準1級)				31,000
進路支援 公務員 入門・教養基礎				24,000
				31,000
				9,000
				17,000

注1. は講座開講。[枚方キャンパスは工大・情報科学部のキャンパスを示す]

どのキャンパスでも受講することができます。

注2. 講座の内容・日程等については、パンフレットでご確認ください。

注3. 受講料は、在学生(基本)料金を示す。

注4. MOSはMicrosoft Office Specialistの略。

講座名	大宮キャンパス/日時	開講場所
語学系 TOEIC	9/22(金) 16:40～17:40	682教室
資格取得 MOS(Excel)	9/20(水) 16:40～17:40	652教室
	2級建築士	9/21(木) 15:00～16:00
進路支援 公務員	9/20(水) 16:40～17:40	752教室
	コミュニケーション能力養成	9/19(火) 16:40～17:40
講座名	枚方キャンパス/日時	開講場所
語学系 TOEIC	9/21(木) 16:40～17:40	1201教室

就職試験対策講座の説明会の実施予定はありません。
注. MOSはMicrosoft Office Specialistの略。

TOPICS

後期に開講される講座は全8講座。なかでも注目したいのは進路支援を目的に開講されるコミュニケーション能力養成講座。今社会で最も求められる自己表現能力。この機会に今の自分をさらにブラッシュアップさせてみませんか。

また3年生を対象に開講する就職試験対策講座では、就職試験の3大関門(書類+筆記+面接)に対応した内容となっているため、就職活動を効率的に進めることができます。

1	TOEIC	1,499,000
2	日商簿記3級	249,877
3	MOS(Specialist)	212,800
4	宅地建物取引主任者	181,880
5	日商簿記2級	144,008
6	基本情報技術者	141,566
7	初級システムアドミニストラータ	127,507
8	介護福祉士	90,602
9	行政書士	74,762
10	ソフトウェア開発技術者	72,713
11	福祉住環境コーディネータ2級	64,015
12	税理士	56,314
13	社会保険労務士	48,120
14	福祉住環境コーディネータ3級	44,505
15	社会福祉士	41,044
16	司法試験(2次試験)	39,428
17	司法書士	31,061
18	日商簿記1級	30,308
19	マンション管理士	26,184
20	CAD利用技術者2級	21,513

は本学(工大・摂大)で開講している講座を示す。
公務員は除く。

資格取得を目指す3つのポイント!

なにを取るか

What

国家資格だけでも1,200種類以上。公的資格・民間資格を合わせるとかなりの種類になります。数ある資格の中から、なにを目指すか。まずは資格の種類・内容を理解することから始めましょう。

どう取るか

How

重要なのは、資格を取得して「どうしたいのか」「どうなりたいか」にあります。ただし、学生時代に自分の将来像を明確に描けている人は多くないかもしれません。自分を見つめ、自分の将来について考えてみるのが不可欠です。

なぜ取るのか

Why

資格を取るために学び、合格する。それだけでも大きな喜びでしょう。しかし、資格取得は合格するだけが目的(ゴール)ではありません。合格は通過点。次のステップへのスタートでもあります。つまり、自己実現のためのツールの一つということです。

前期講座 受講者の感想



TOEIC講座

独学でやっていたころより、格段に力がついたと思います。
リスニングに力を入れることができた。単語テストがあるので、覚えるのにやる気がでる。
リスニングや文を読む際のコツ等がよく分かりました。

CAD利用技術者(2級)講座

講座の内容は難しいものだったけれど、しっかり理解できた。質問への対応も満足できた。
3年生になってCADを習うので、その予習として大変勉強になった。
後半に進むにつれて良く分かるようになってきて、おもしろかったです。

CGエンジニア検定(3級)講座

とても良い勉強になりました。授業の「コンピュータグラフィックス」にも役立つことを予習・復習できたので、試験の結果がどうであれ、ためになりました。
ポイントごとに解説してくれてとてもわかりやすかったです。

資格の評価

～重要なのは「人間力」～

資格取得は「就職に有利」と考えるのは一般的です。確かに「有利」であることに間違いありません。しかし、資格があれば就職できるか、という答えはNoです。逆に資格がないと就職できないかというこれも答えはNoです。資格はその結果とともに合格までの過程(努力)も評価され

ますが、あくまでも「付加価値」の一つと言えます。
それでは、企業が重視する能力(ポイント)は何か。それが「人間力」という言葉に集約されます。大学生活のなかで、さまざまなことにチャレンジし、経験を積み重ねながら人間力を高めていくことが最大の課題です。

企業が求める能力

志と心: 社会の一員としての規範を備え、物事に使命感をもって取り組むことのできる力
行動力: 情報収集や、交渉、調整などを通じて困難を克服しながら目標を達成する力
知力: 深く物事を探求し考え抜く力

・実行力
・コミュニケーション能力
・情報収集力
・プレゼンテーション能力
・シミュレーション能力
・ネットワーク力
・異文化理解能力

・人間性、倫理観
・社会性
・職業観
・責任感
・仕事に対する意識の高さ
・国際協調の意識

行動力

・基礎学力
・論理的な思考力
・戦略的な思考力
・専門性
・独創性

知力

出所:「21世紀に生き抜く次世代育成のための提言」
(経団連2004.11)

規則正しい生活習慣を。

知的財産学部 助教授 中村 友浩
健康体育研究室

近年、若者の心と体の問題が深刻化しています。初等中等教育では朝食の摂取率と学力の関係が指摘されるなど生活習慣と学力の問題が少しずつクローズアップされています。それでは大学などの高等教育機関で心と体の健康を促す教育は必要ないのでしょうか？

下の図は大阪工大生の生活習慣と前期取得単位数との関係を調べたものです。この図を見ますと特に食事と睡眠に規則性と取得単位数に関連性が見いだせます。規則正しく食事と睡眠をとっている学生ほどしっかり単位を取得していることがわかります。大学生においても生活習慣の維持、改善はしっかり単位を取得する上で極めて重要なことであることがわかります。特に大学生になって1年目は受験という縛りから解放される時期で心も体もゆるみがちです。また、大学で新しい友達が最初から作る必要も生じてきます。

従来よりも人間関係が希薄化されつつある現代において一度ゆるんだ状態をもとに戻すことは極めて困難です。生活習慣も友人関係もうまくなりかなくなると学習意欲も低下し、ドロップアウトする確率が高くなります。大学がたくさんの授業や学内サービスプログラムを用意してあげても、本人の健康状態が悪くなくて学習意欲が低下しているので

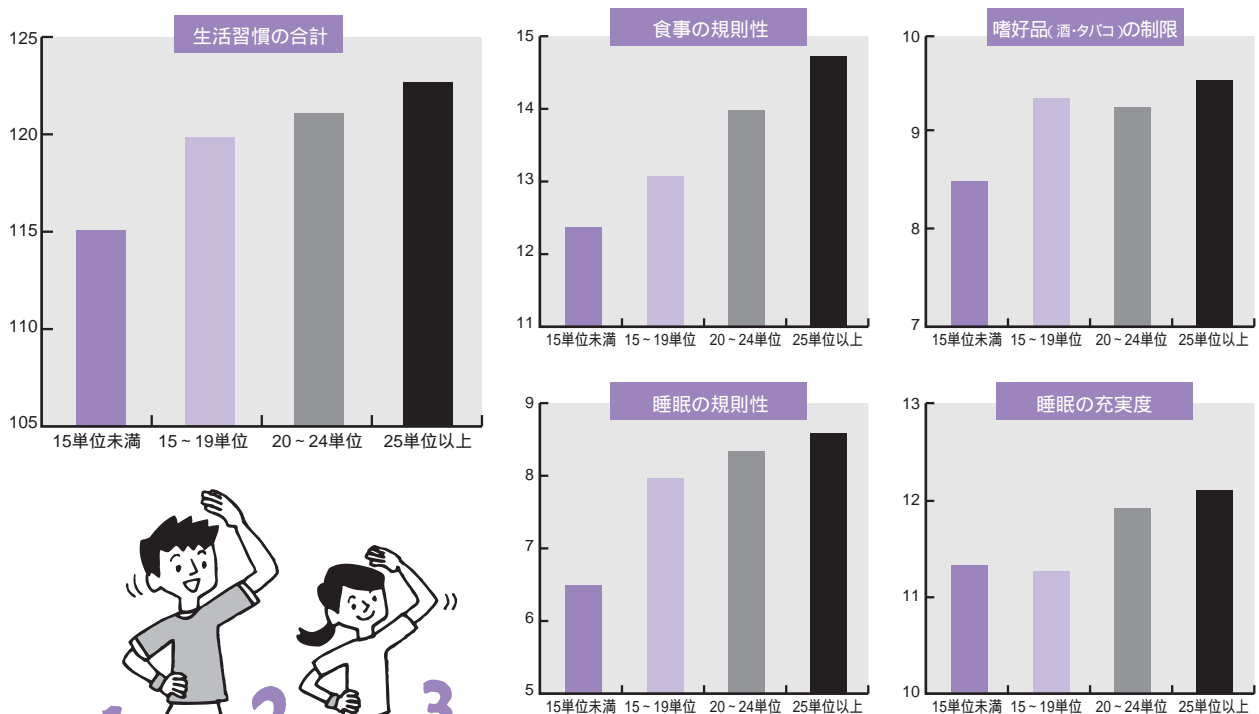
はどうしようもありません。しかし、残念なことにこの問題が極めて今日的で深刻な課題でもあります。

我々の健康体育研究室では体育教育の枠組み中に生活習慣を改善させる授業を展開しています。最終教育段階である大学生において自らの生活習慣を改善させる教育を受けることは自らの健康状態を改善させるだけでなく、大学を”生活の場”として機能させるきっかけにもつながります。生活習慣を改善させる教育は大学生活の第一歩として極めて重要な事であると考えています。

健康体育の授業では生活習慣を改善させる方法として心理学領域の行動変容技法を取り入れています。この方法は自己管理、時間管理能力も育成します。このような健康管理教育は、就職に関連したキャリア教育という視点からも重要で、来るべき高齢化社会でたくましく仕事をする力にもつながります。

学生個人が積極的に取り組むことはもちろんのこと、効率的に遂行させるためにご家庭のサポートは特に重要であると考えています。規則正しい生活習慣を促すためにどのようなサポートが必要かという視点から学生本人とコミュニケーションを取り、ご家庭で具体的に実践してみてください！

心理・行動科学の理論・モデルに基づいて身体活動・運動の増進に関わる諸要因を明らかにし、それらの要因を強化するための働きかけを加味した身体活動・運動の増進技法。



大阪工大1年生の健康度・生活習慣診断検査得点(縦軸)と前期取得単位数(横軸)との関係
「木内・荒井・浦井・中村(2006)大学教育学会第27回大会ラウンドテーブル発表資料」